

# 『雨天決行』

劇団展覧劇場

【00】宝の存在いざ証明「舞台」

音響 客入れ煽る

暗転

舞監板付き

明転

舞監

本日は劇団展覧劇場2016年度生卒業公演「雨天決行」にお越しいただき誠にありがとうございます。開演に先立ちまして、劇団展覧劇場より、お客様にいくつか注意事項がございます。

一点目、館内、飲食喫煙は厳禁となっております。ご遠慮ください。

二点目、許可のない写真・動画撮影は固くお断りしております。

三点目、携帯電話、PHS、アラーム付き腕時計、スマートフォンなど、音や光の出る機器は、音や光の出ない状態にしてください。よろしく願います。

四点目、上演中気分が悪くなられたお客様がいらっしゃいましたら、お近くの劇団員スタッフにお声がけください。

稲妻 2階奥入り SE(ドーン)

稲妻

だあああ！ うだうだうるっせえ！ おい、こっちはもう待ちくたびれてんだ！ さっさとはじめやがれ！

SE(バーン)

舞監

そ、それでは大変長らくお待たせいたしました。劇団展覧劇場2016年度生卒業公演「雨天決行」どうぞごゆっくりお楽しみください。

稲妻

よおし、目えかっぱじってよおく見てろよお前ら！ これが俺たちの物語だあ！

OP 演出 (sumika / チェスター Coppert)

暗転

【01】生まれ落ちた排泄物「物集部」

亜貴人 物集 板付き

亜貴人 どうですか…？

物集 宝城君これ（ニッコリ）全っつ然ダメ。

亜貴人 えっと、あの、その、ど、どのへんが…

物集 どのへん？ よくそんなこと聞けたわねえ。びっくりして開いた口がふさがらなあいって感じ。あ！ 顎が外れたわ！ 助けて宝城くん、ありがとー、よかったよかった、じゃないわよ！ 設定よ、設定。…あなた、あの有名な海賊漫画、知ってる？

亜貴人 えっと、あの、ワンピ／＼／

物集 そう！ 合ってるでもそれ以上は著作権的にNG！ 面白いわね、大ヒットしたわよねえ。うちのケンちゃんも大好きなのー。で、あなたが持ってきたこのネーム。要するに、海賊の主人公が、世界を支配しようとする魔神を倒す冒険ファンタジー。ってところかしら。

亜貴人 …はい。

物集 本当にこれで売れると思ったわけ？ 今更海賊ものなんて二番煎じもいいところじゃない。こっちとしては売れる漫画を描いてもらわないと困るの。わかる？

亜貴人 …それはわかりますけど。

物集 けど、なあに？

亜貴人 …いえ、なんでもありません。

物集 そう。んー、どうしようかしらねえ。…いつそのこと他所の漫画から面白い設定とかかっこいいセリフとか色々パクってきちゃう？ どうかしら？

亜貴人 いやちよつと／＼／

物集 やっぱいいわよね！ 私もいいアイデアだと思ったの！ 主人公の名前は…イナヅマね。そう、なら「オッス、オライナヅマ！ 海賊王にオラはなる！ それが、オラの海賊道だ！」みたいな？

亜貴人 …。

物集 え、何、なんで無反応、え、怖い。なんで。なにそれ。私が滑ったみたいじゃーん。やめてよねえ。

亜貴人 すみません。

物集 …すみませんじゃなくて。あなたからも何か出してよ。これ私の作品じゃないからあなたが考えないと。ほら、どうするのこれ？

亜貴人 もう一度考え直してきます。

物集 ハア…、ねえあなた、今いくつだっけ。

亜貴人 23です。

物集 23か、うんうん、なるほど、そっか、そっか。…うん、この際だからはっきり言うわね。

亜貴人 はい。

物集 あなた、才能ないから、さっさと諦めて就職した方がいいわよ。まだ若いんだから間に合うと思うわ。ほら親御さんだって、心配してると思うし。安心させてあげたら。

亜貴人 ……も、もう一度、描き直して持ってきます。

物集 あ、そう、まあ期待せずに待ってるわね。あらやだ、もうこんな時間。ケンちゃんのお迎えに行かなくっちゃ！ それじゃあ宝城君、頑張ってるわね。

物集 下奥ハケ

【02】さあ、金儲けの時間だ。「路地裏」

照明変化

時守 下ツラ入り

時守 もし、そこのお方。

亜貴人 気づかずスルー

時守 もし、もし…、おい、そのチンタラ歩いてるウスノロ！ 貴様のことだぞこの木偶の坊。

亜貴人 え、ええ。僕ですか。

時守 そうです。何やらお悩みのご様子。よければ占っていきませんか？

亜貴人 え、占いですか？

時守 ええ、あまりお時間取りませんので。そうですね、1分24秒ほどです。

亜貴人 ああー、いえ、すみません大丈夫です。

時守 そうですか。しかし、占わないと不幸な運命に見舞われるようですよ。

兵働 小鳥遊 上ツラ入り

亜貴人 え？

兵働 ああ、くそー、ムシヤクシヤすんなあ！ 誰でもいいから一発殴りてえ気分だぜ！

特に占いを断つてるような奴がいたら顔面に右ストレートをお見舞いしてやりてえところだなあ！

小鳥遊 おおおー。そうだぞー。やっちやうぞー。

亜貴人 あ、え？

兵働 ああーあ！ この辺に占いを断っているような奴はいねえかなああああ！？

小鳥遊 悪い子はいねえかー。

亜貴人 え？

兵働 なあああああ！？

小鳥遊 尻子玉抜いちやうぞー。

時守 どうされますか？

亜貴人 わかりました。わかりましたから！ お願いします…。

時守 ではこちらへ。御手を拝借。

兵働 小鳥遊 時守の隣に立つ

時守 なるほど、わかりました。

亜貴人 何がわかったんですか？

時守 あなたは今人生に迷っている。夢をあきらめるか否か。夢は…漫画家ですね。違いますか？

亜貴人　すごい、当たってる。

小鳥遊　時守そんなことできたんだー。

兵働　（ケツかみ）ばあか黙ってる。

時守　私にはすべて見えているのです。あなたの過去も今も未来もすべて。

亜貴人　僕はどうすればいいんですか!?

時守　そうですね、ひとまずこれを、私たちに預けることですね。

亜貴人　え、あ、それ!

兵働　そんなじゃ、占いで代ってことでもらってくぜえ!

小鳥遊　逃っげろー。

時守　それでは。

兵働　下奥　小鳥遊　下中　時守　下ツラ　ハケ

亜貴人　え、ちよちよ、ちよ、ちよっとまでー!

亜貴人　下奥　ハケ

照明変化

兵働　下中　小鳥遊　上ツラ　入り

兵働　ひゅー!　今回もうまくいったな。

小鳥遊　あれー、ねえねえ時守居ないよー。

兵働　ほんとだ、あいつ、もしかして捕まったんじゃねえのか。

小鳥遊　ええー、そんなの困るよー。

時守　下奥　入り

時守　私がそのような失敗をするはずがないだろう。

小鳥遊 時守ー！

兵働 なんだよ、遅かったじゃねえか。

時守 時間通りきつかりだ。貴様のようなグズと一緒にするな。

小鳥遊 ねえねえ時守、僕も占ってよ。

時守 何を言ってる。あんなもの全てでたらめだ。

小鳥遊 ええーそうなのー。つまんないのー。

兵働 あ、そうだ。おい四方戯、なんだよさっきのあれ。あたしはちゃんと怖がらせるようにって言ったよな。

小鳥遊 えー？ あー！ なまはげとーかつぱだよー。怖いでしょー。

兵働 ちつとも怖くねえよ。この程度の仕事くらい真面目にやれ。(デコピン)

小鳥遊 いったあー。何するんだよー。

兵働 にしても、今回こそアタリだといいな。今んとこハズレばつかで型破りもいいところだぜ。

時守 それを言うなら肩透かしだ。

小鳥遊 あははー、兵働まちがえてるー。

兵働 るっせえよ、でも当たれば相当な儲けになるんだろ？ こーんな漫画が一攫千金の種ねえ。

時守 おい、もっと丁重に扱え。

銀銅 奥ハケ 入り

銀銅 おうお前ら。

兵働 銀銅さん！

時守 銀銅様。

小鳥遊 親びーん。

銀銅 ご苦労だったな。それで、例のものは？

時守 はい、こちらです。

兵働 (取られる) あっ。

銀銅 んー、素晴らしい金の匂いだ。間違いねえ、おいお前ら、今回はアタリだ。よくやったな。

小鳥遊 わあい、やったー。アタリだー。

兵働 よっしゃあ、ついに来たぜ！

ああでも、ずっと聞きたかったんすけど、マジでそんなもんが金になるんすか？

銀銅 ああ。まあな。今回のビジネスは漫画の具現化、その元になるのがこいつってわけだ。

小鳥遊 たっのしそー！

兵働 漫画を具現化ねえ。やっぱ何回聞いても、現実味がないんすよねえ。

銀銅 だろうな。だが他の奴らが想像もしないものを生み出せる奴が、金の生る木を牛耳り、この世界を支配する。それをできるのが俺達だろ？

小鳥遊 そうだそうだー。

銀銅 それとも、俺が信じられねえか？

兵働 いやあ、そんなことはないんすけど。

時守 兵働、貴様いい加減にしろ。銀銅様の嗅覚を疑うのか？

兵働 ちっげえよ。ちよつと聞いたぐらいだろ。そんなぐらいでそんなにつつかかんなよ。刻ちゃん。

時守 私は貴様より二つも年上だ。口を慎め、このグズ野郎。

兵働 へいへーい。わかりましたよー。あ、じゃあ四方戯はあたしのこと、さんづけな。

小鳥遊 ええー、やだよー。

銀銅 おうおう、用は済んだ。待たせて悪かったな、お待ちかねの稼ぎ時だ。今から忙しくなるから覚悟しとけ。

兵働 そんなもん、とつくの昔にできてますよ！

小鳥遊 ばっちこーい。

時守 我々は銀銅様の手足です。どうぞ、望むままに。

銀銅 期待している、じゃあいくぞ。

兵働 ういーっす。

時守 はっ！

小鳥遊 はあい。

コア 奥ハケ

【03】夢は叶うんですよ。「碓佰荘」

照明変化

亜貴人 夢華遅れて 下ツラ入り

亜貴人 はあ…。今日はついてないなあ…。

夢華 亜貴人さん！

亜貴人 びっくりした、夢華ちゃんか。

夢華 どうしたんですか、そんなところで突っ立って、中入らないんですか？

亜貴人 いや、うん、ちょっとね。いろいろあって。

夢華 ふーん、なーんだ、またダメだったんですね。

亜貴人 うっ、はっきり言わないで、これでも結構傷ついてるんだよ。

夢華 だって、いつものことじゃないですか。

亜貴人 いつものことって。

夢華 まあ、とりあえず、早く入りましょ。

照明変化

利家 優家里 上ツラ入り

夢華 ただいまー。

利家 おおー！ 夢華、亜貴人帰ったか！



優家里 二人ともお疲れ様。亜貴人くん、今回はどうでしたか？

夢華 優家里さん聞いて！ 亜貴人さんってば、落ち込んで家の前でボーっとしてたの。

優家里 まあ、それじゃあ。

亜貴人 今回もダメでした。

優家里 そう、残念ですね。あんなに頑張っていたのに。

亜貴人 すみません、いつもお世話になってばかりで恩返しもできず。

利家 漫画家なんてそう簡単になれるものでもないだろ。俺たちは気長に待ってるよ。なあ？

優家里 そうですね、ゆっくり自分のペースで進めばいいんですよ、焦ることはありません。

亜貴人 ……そうなんですかね。

夢華 どうしたんですか？ 今日はいつもとより落ち込んでますけど。

亜貴人 ……実は、もう漫画家になるのは諦めようかなって思っているんです。

夢華 え！？ やめちゃうんですか？

優家里 どうしてまた。

亜貴人 編集の人に、才能がないって言われて。それで、僕自身も何でやりたいのかがわからなくなっちゃって。そんな状態で続けてもいいのかなって。

利家 なるほどなあ。亜貴人はどうしたいんだ？

亜貴人 ずっと夢に見てきたけど、でも今日言われて、叶わないなら諦めるのは早い方がいいのかなと思います、いくら頑張っても、実らない努力であると思います、それが今回だったんです。そもそも身の丈に合わない夢をみてたんですよ。だから…もうあきらめ／＼／

夢華 ストーリーって！ もう！ うじうじしないでください。

亜貴人さんの夢は、人に言われて諦められるようなものなんですか？

亜貴人 でも…

夢華 ああもう。じゃあ亜貴人さんに良い言葉を教えてあげます。

夢は見るものじゃなくて、叶えるものですよ！

利家 おお夢華！ いいことを言うなあ！

夢華 でしょ。私が大切にしている言葉なの。

利家 なあ亜貴人、ここまで亜貴人がやってきた努力は確かなんだ。もう少し粘ってみたらどうだ？

優家里 ここで諦めちゃうのはもったいないですよ。

夢華 みんな亜貴人さんのこと応援してるんですから、ほら、ちゃんと胸張って。はい、何か言うことは？

亜貴人 …もう少し頑張ってみようと思います。

夢華 うん、それでよし。

亜貴人 みんな、ありがとうございます。

優家里 さあ、二人とも、お腹が空いたでしょう？ ご飯にしますよ。

夢華 はいい。

亜貴人 あ、すみません、僕自分の部屋に一旦荷物おいてきますね。

亜貴人 2階移動

利家 おお、わかった。飯が冷めるから、早く戻って来いよ。

夢華 あれ？ そういえば他のみんなは？

利家 ああ、大己と友一は試験勉強で学校に残るから外で食べてくるらしい。姫愛はダイエット中だから、夜は食べないそうだ。

夢華 ええー、じゃあ今日は四人だけかあ。

利家 その分、お代わりし放題だぞ。

夢華 ほんと！？ やったー！ 優家里さん、早く準備しよ！

優家里 はいはい。

夢華 利家 優家里 上ツラハケ

【04】イナヅマじゃねえイナヅマだ！「亜貴人の部屋」

照明変化

亜貴人 あれ？ 電気つけっぱなしだったっけ。

照明変化（目つぶし）

イナヅマ 下奥 入り

亜貴人 うわっ！ なんだ急に！？ って

亜貴人 うわ！

稲妻 うわ！

亜貴人 え、えー！

稲妻 ああん！？ 誰だお前！

亜貴人 そっちこそ誰ですか？ こ、ここは僕の部屋ですよ。もしかして、新しく入居：いやでも、そんな話聞いてない。じゃ、じゃあ泥棒！？

稲妻 おいお前！ 俺の船どこにやったんだよ。

亜貴人 ふ、船？ そ、そっちこそ何言ってるんですか。というか、本当に誰なんですか！

稲妻 質問ばっかだなー。それに人に名前を聞くときは自分からつてのが筋つてもんだろ。

亜貴人 ぼ、僕はこの部屋に住んでる宝城亜貴人です。

稲妻 そうか。俺様の名前はキャプテンイナヅマ！ 泣く子も黙る海賊だ。

亜貴人 ……え。今なんて？

稲妻 だから、泣く子も黙る海賊だ！

亜貴人 じゃなくて名前！

稲妻 ったく、人様の名前くらい一発でちゃんと覚えやがれ。キャプテン・イナヅマだ。

亜貴人 ……イナヅマ？

稲妻 そうだ、こんなイカした名前二度と忘れるんじゃないぞ。えっと…、早漏ファイト。

亜貴人 宝城亜貴人だよ！

稲妻 ああ、そうだそんな名前だったな。

亜貴人 そんなことより、君は本当にイナヅマなの？

稲妻 なんで俺がそんなくそつまねえ嘘なんかつかなくちゃいけねえんだよ。

亜貴人 じゃあ、誕生日は6月26日。年は19歳、血液型はB型。

稲妻 ああ？

亜貴人 名前の由来は、背中に稲妻の形をした痣があったから。

稲妻 なんでそんなことまで知ってやがる！ さてはお前、…俺のファンだよー！

亜貴人 なんで僕の漫画のキャラクターがいるんだ！？

亜貴人 稲妻 下奥 ハケ

【05】俺にかまうな。「学校」

照明変化 S E (チャイム)

大己 下ツラ 師岡(少し遅れて) 下中 入り

師岡 あ、我孫子君。

大己 なんですか。

師岡 今から帰るところ？

大己 そうですけど。

師岡 そう、それならちよつとだけ話しがしたいんだけど、いいかな？

大己 まあ、はい、大丈夫です。

師岡 ありがとう、あのね先生、我孫子君が学校生活で何か困ってるんじゃないかなって思ったんだけど。

大己 …別に、何もありませんよ。

師岡 本当？ でも最近元気ないように見えるから心配で。

大己 普通に元気ですよ。むしろ、なんで元気がないと思ったんですか？

師岡 ああ、いや、先生の勘違いだったらいいんだけど。

大己 多分先生の勘違いですよ。

師岡 …本当に困ってることはないんだね？

大己 だから、何もないですって。本人がそう言ってるんだからいいじゃないですか。

師岡 そう、だね。

大己 用件はそれだけですか。

師岡 うん、でも、何かあったらすぐに相談してね。先生はいつだって我孫子君の味方だからね。

大己 そうですか。でも、本当に大丈夫なんで。

師岡 うん、じゃあ気を付けて帰ってね。また明日。

大己 さようなら。

師岡 下ツラハケ

大己 ……何が味方だよ。結局何もしなくせに。

友一 下ツラ入り

友一 大己ー。

大己 何？

友一 何じゃないよ。なんで先に帰ってるの。

今日は試験勉強で遅くなるから、一緒にご飯食べて帰ろうって言ったでしょ。

大己 一緒に帰るって言ってない。

友一 試験期間くらいしか一緒に帰れないんだから。

大己 だから？

友一 だから、どうせ同じ寮なんだから、こういう時くらい一緒に帰ればいいじゃんか。

大己 あのなあ、俺らもう高校生だろ。昔みたくいつも一緒にっていう年じゃない。子供じゃないんだから。

友一 高校生もまだ十分子供だよ。それに大人になっても友達と一緒にいるのは別に変じゃないでしょ。

大己 変だろ。

友一 変じゃないよ。もう即答しないでよ。なんでそんなひねくれたこと言うんだよ。

大己 ハア…。あつそう。もういいよ。

友一 なんだよそれ…あつ、そういえばさつき師岡先生と一緒にいたけど、何か話してたの？

大己 …別に、進路のことについて話してただけ。

友一 あ、そうなんだ、で、大己はどうするの？ やっぱり大学進学？

大己 まあな。

友一 ふーんそっか、一応僕もそのつもりなんだ。あ、ねえ、どこ受けるの？

大己 なんて言わなきゃいけないんだよ。

友一 え、また同じところだったら面白いなって思ったから。

大己 じゃあ絶対言わねえ。

友一 ええー、別に教えてくれたっていいじゃんか。

大己 大学までお前と一緒になんて嫌だから。

友一 なんでそんなひどいこと言うんだよ。傷つくだろ。

大己 知らねえよ。

友一 あ、待ってよ、大己ー。

大己 友一 奥ハケ

【06】説明しろって言うてんだろ！「碓佰荘・リビング」

照明変化

碓佰荘 上ツラ入り

優家里 つまり、どういうことかしら？

亜貴人 だから、えっと、つまり、彼は僕の描いた漫画の主人公で、漫画のキャラクターであるはずの彼が僕の部屋にいて、で、この現状です。

夢華 うん、それさつきも聞きました。

利家 すまん、全然わからん。

亜貴人 ですよね／＼／

稲妻 だあかああああ、ここはどこでお前らは誰で、なんで俺がここにいるのか説明しろっつてんだろ！

亜貴人 それがわかったら苦労しないよ。ああ、もう。君は本当にイナヅマなんだよね。

稲妻 何回言わせるつもりだ！俺はキャプテンイナヅマ！海賊！気が付いたらここにいた！状況がわからないから誰か説明しろ！以上！

亜貴人 うーん。

大己 友一 下ツラ入り

友一 ただいまー。

利家 おお、二人とも帰ったか。

優家里 おかえりなさい。

大己 声、外まで響いてたよ。

優家里 あら、そうだったの。

姫愛 上奥入り

姫愛　みんなどうしたのお？

利家　おお、姫愛。

姫愛　あれえ、なんかかつこいい人がいるう。

稲妻　おい、次から次へと、なんだこいつら。何人いるんだよ！

利家　ああ、折角だから紹介しよう！　大己と友一、そして姫愛だ。

稲妻　一体何なんだこの家は。

利家　さつきも言ったとおり、ここは碓伯荘っていう寮だ。

優家里　色んな人が一緒の家に暮らしているんです。

稲妻　ああーなんだお前らも海賊みたいなもんか

重貴人　全然違うよ！

稲妻　じゃあこいつらはお前の仲間か？

重貴人　え、仲間っていうか、なんて表現すればいいかな。

夢華　家族、みたいなものじゃないですか？

利家　その通り！　俺たちはみんな家族だ。

稲妻　おう、そうなのか！

大己　はあ…もう終わった？　じゃあ、俺は試験勉強があるから。その変な人、静かにさせておいてよね。

大己　上奥ハケ

友一　あつ、ちよつと大己！

稲妻　なんだあのガキ。

友一　すみません、大己はいつもああなんです。

稲妻　んだよ、生意気な奴だな。



姫愛　それでえ、この人誰え？

亜貴人　あつ、えつと、この人は／＼／僕の

夢華　亜貴人さんの漫画から出てきたんだって！

友一　えつ、漫画の中から！？

姫愛　そんな不思議なことあるのお？

亜貴人　僕もあんまりよくわかってないんだ：

姫愛　ふうん、じゃああなた、これからどうするの？

稲妻　これから？

姫愛　うん。だってえ、よくわからないけど、こっちの世界に出て来ちゃったならあ、帰り方もわからないわけでしょお？

夢華　あ、本当だ。

亜貴人　確かに…。考えてみたらそうだよね。

友一　どうするんですか？

亜貴人　どうしよう。

優家里　利家さん。

利家　うん、そうだな。よし！イナヅマ！

稲妻　ああ？　なんだよおっさん。

利家　君もここに住みなさい。といっても部屋に空きはないから。：亜貴人の部屋に二人で。

亜貴人　ええ？

稲妻　ああん！？

亜貴人　いやちよつと待ってください。なんでそうなるんですか。

利家　イナヅマは亜貴人の漫画のキャラクターなんだろ。じゃあ亜貴人が保護者だ。

稲妻 何言ってやがる！　こんななよなよしたもやし野郎が俺の保護者だあ？　冗談じゃねえ！  
俺はキャプテンイナヅマだぞ。そんな屈辱を受けるくらいならこんなどころ今すぐ出て行ってやる！

夢華 でも、この世界のこと何にもわからないよね？

稲妻 ああん！？　それは！　それは…

夢華 あ、じゃあ、亜貴人さん、明日イナヅマと一緒に遊びに行きましょうよ。この世界の案内も兼ねて。

亜貴人 え？

稲妻 ああ？

利家 おお、それはいいな！

優家里 そうね、三人で行ってきたらどうかしら？

亜貴人 え、いや、ちょっとまって。

夢華 よーし、決定！　じゃあ明日。朝6時に出発ね！

碓佰荘 上ツラ　ハケ

【07】 恥ずかしいから静かにしててくれよ。「舞台」

照明変化　（環境音街中）

稲妻 おいおい、なんだこの人だから。おい！　なんだあれ！  
船が陸を走ってるぞ、この世界の船は陸も走るのか！！

夢華 あれは車だよ。

稲妻 クルマ？　あの船はクルマっていいのか！　初めて見たぜ！　どこで手に入るんだ！

亜貴人 いや急に言われても、免許も持ってないし。

稲妻 免許ってのが必要なのか！？　今から取りに行こうぜ！

亜貴人 そんなすぐには取れないよ、免許は。

SE（飛行機）

稲妻 おいおいおいおい！ なんだありや！ 船が空を飛んでやがるぞ！ ありやなんだ！？

夢華 あれは飛行機だよ。

稲妻 ヒコーキ！ どこで手に入るんだ！

亜貴人 あれは流石に無理だよ。

稲妻 なんでだよ！ 俺に出来ねえことはねえ！ 俺もヒコーキに乗るんだ！

夢華 今日はこつちの世界を案内するっていったでしょ。

稲妻 ああ？ 今はヒコーキの方が大事だろうが！

亜貴人 いい年して駄々こねないで！

夢華 ああもう電車きちやうから二人とも行きますよ。

稲妻 え、あ、おいちよつと待て！

照明変化 SE (駅のホーム)

稲妻 すっげー！ さっき乗った船、地面の下を走ったぞ！

夢華 イナヅマにとって乗り物は、みんな船なんですネ。

稲妻 おい！ また来たぞ！ すげえな！！

亜貴人 恥ずかしいから少し静かにしてってば。

夢華 いいじゃないですか、イナヅマの反応面白いですし。

亜貴人 あれじゃあ、田舎者にしか見えないよ。

稲妻 どこもかしこもすげえ船だらけじゃねえか！ おい女！ 他にはどんな船があるんだ！？

夢華 叶夢華。

稲妻 はあ？

夢華 私の名前。女なんて呼び方やめてよね。

稲妻 おうそうか悪かったな。お前が夢華で、お前が…ファイト？

巫貴人 巫貴人！

稲妻 おう、そういやそんな名前だったな。

巫貴人 人には一発で覚えるっていうくせに自分は人の名前~~三~~覚えないんだから。

稲妻 んなことより、もっとすげえ船教えてくれよ！

夢華 船じゃないけど、今からとっても面白いところに行くよ。

照明変化

巫貴人 ってなんでデイズニerland？

稲妻 すげえええええ！！なんだここ！ 冒険の匂いがプンプンしやがるぜ！  
俺ちよっくら冒険してくるぞお！

稲妻 下ツラハケ

巫貴人 えっ、ちよっと！

夢華 やっぱり、楽しんでくれてるみたいですね！

巫貴人 …はあ、あの格好じやどっちがキャストかわからないよ。

夢華 確かに、イナヅマ溶け込んでる。

巫貴人 ごめんね夢華ちゃん。イナヅマのためにここまでしてくれて。

夢華 気にしないでください。それにイナヅマのためだけじゃないですよ。巫貴人さん、最近落ち込んでばかりだったから、たまには気分転換も必要かなって思ったんです。

巫貴人 そんな、ごめん気を使ってもらって。

夢華 いいですって。それに、私が楽しみたかったっていうのもありますし、夢の国。楽しまなきゃ損ですよ。

巫貴人 そうだね。ありがとう。

夢華 いーえ、どういたしまして。

稲妻 下ツラ入り

稲妻 おい！ あつちにでかいネズミの化け物がいたぞ！ あと二足歩行の犬もいた！  
両脇にガキ抱えて人質に取ってやがった！ 俺は助けに行くから、お前らは先に逃げてろ！

稲妻 下ツラハケ

亜貴人 それ違うから！変なことしないで！

夢華 待って、イナヅマ！

亜貴人 夢華 下ツラハケ

【08】時は金なりという言葉を知らんのか？「コア」

照明変化

御三家 上奥入り

兵働 うっへー、絶景！ 絶景！ これが全部金の山ってことか！

時守 ああ、これが全て売れば、銀銅様の計画通り、一攫千金間違いなしだ。

小鳥遊 さつすが。おやびーん。これで僕も遊び放題だよー。

兵働 たまんないねえ。

小鳥遊 ねえ時守、なんでまだ売らないのー？ 僕も早く遊びたいよー。

兵働 あたしもちやっちゃと働かせてくれよ。

時守 そうあわてるな、まだその時ではないということだろう。

兵働 くうう、じれってえなちくしよう。

時守 タイミングが肝心なのだ。急いで仕事を仕損じるぞ。

銀銅 松戸 奥入り

銀銅 その通りだ。

小鳥遊 おやびんだー！

兵働 銀銅さん…と、誰だ姉ちゃん？

銀銅 今回の計画の技術面すべてを支えているドクター松戸齋江だ。この前紹介したぞ。

時守 見下げはてた馬鹿だな貴様は。一度会った人物の顔と名前くらい覚える。

兵働 ああー、どつかで聞いたような、聞いてないような？

小鳥遊 僕は覚えてたよー。

兵働 おい、嘘つくな。

松戸 その年で耄碌してるようじゃこの先思いやられるわね。

時守 ドクター、兵働の馬鹿が、失礼しました。

銀銅 あれでも、仕事はできる部下だな。大目に見てやってくれ。

兵働 つーかよ、なんでこれすぐ売らねえんだ。その時じゃないってどういうことだよ。

松戸 単純な話、まだこの世界に定着していないの、もとは漫画の世界のものなんだから当然よね。それにこの世界への定着率はその物の大きさに比例するの。大きいものほど遅く、小さいものほど早い。

小鳥遊 ー？

兵働 どういうことだ？ あ、つかそもそも、どうやって漫画のものを具現化してんだ。

松戸 ハア…、わかったわよ。おバカさんにでもわかるように説明してあげる。

あなたたち、当然微分と積分は知ってるわよねえ。要はあれの応用。漫画の中の要素を抽出分解、それを私の作品ちゃんと合成具現化する。一度抽出分解された粒子は／／

兵働 ああもう！ 小難しい話するんじゃないよ。もっとわかりやすく説明してくれ。

小鳥遊 僕もわかんない。

時守 ドクター、このような脳足りん共には理屈で説明するよりも実際に見せた方が早いかと。

松戸 どうやらそのようね。銀銅さん、私のかわいい作品ちゃん、ここで使ってもいいかしら。

銀銅 ああ、構わん。だが、あまり派手にやってくれるなよ。

松戸 もちろん加減はするわ。じゃあ、二人ともよく見ててね。

松戸 剣を振り下ろす

SE (破壊音) 照明変化

兵働 うわっ！

小鳥遊 すっごおおい！

松戸 どう？ これで分かったかしら。これでも抑えた方なのよ。

力加減を誤ると大惨事間違いなしってわけ。ああ、やっぱり私の作品ちゃんったら最ッ高！

兵働 おいおい、本当にこんなもん売っちゃまっていいんすか、銀銅さん。

銀銅 心配するな兵働。こんなもんカタギに売ったりはしねえよ。

小鳥遊 じゃあこれゼーんぶどうするのー？

時守 これはあくまで戦争中の軍事国やマフィアに売りつけるための物だ。

だが、それに欠陥があってはならんからな。貴様らがやる仕事はこちらが先だ。ドクター。

松戸 ええ。これよ。

兵働 なんだそれ？ ストラップ。

小鳥遊 あそこにあるのと同じやつだ。

松戸 スケールは小さいけど、威力は十分保証するわ。ただし、人は殺せない程度に調整しているから安心してもらって構わないわ。ああ、やっぱり私ったら、て・ん・さ・い。

銀銅 兵働、売り方はお前に任せる。小鳥遊はそのサポートだ。兵働、面倒見てやれ。

小鳥遊 はあーい。

兵働 まっかせてください。ツテならありますから。さあて、お仕事といきますか！

銀銅 松戸 奥ハケ 御三家 下ツラハケ

【09】俺はこの世界が気に入った！「碓佰荘」

照明変化

碓佰荘 上ツラ入り

稲妻 たあああ！ 今日もたらふく食ったぜ。おい優家里！ 明日の朝飯はなんだ？

亜貴人 今食べたばかりだよね！？

利家 若い奴は食いつ気があつていいなあ！

夢華 イナヅマ、本当によく食べるよね。

姫愛 見てるだけでお腹いっぱいになるから、姫愛もダイエット助かつちゃうよお。

稲妻 ああ？ 見てるだけで腹が膨れるわけないだろ。お前もちゃんと飯を食え！

姫愛 女の子にはいろいろあるんだよお。ねえー。

夢華 ねえー。

亜貴人 イナヅマはどう考えても食べすぎ。もう少し遠慮つてものを覚えた方がいいよ。

稲妻 食べられる時に食べるのが海賊の流儀だ。それに、ここの飯はどれもうめえから、食わねえともったいねえだろうが。

姫愛 つい食べすぎちゃうんだよねえ。

夢華 それわかる、優家里さんお料理すつごく上手なの。だから、私も今教えてもらってるの。

優家里 みんな褒めてくれてありがとう。じゃあ明日の朝ごはんはいつもより気合を入れてつくりますね。

稲妻 よっしゃ！ おい優家里、お前はいい嫁さんになれるぞ！

亜貴人 もう結婚してるよ。

利家 お！ イナヅマ、見る目があるなあ。だが、優家里は俺の妻だからな、お前にはやれん！ はっはっは！

稲妻 おお、それもそうか、ハッハッハッハ！

大己 友一 上奥入り

大己 あのさあ、さつきからうるさいんだけど。静かにしてくれる？

利家 おお、大己、友一。

優家里 ごめんなさい。二人はまだ試験期間でしたね。



友一 すみません、明日で最後なんで。

姫愛 イナヅマくん面白いからあ、つい盛り上がっちゃったあ。

夢華 イナヅマもすっかりこの世界に慣れてきたからね。

姫愛 ねえ。

亜貴人 みんなに迷惑ばかりかけてて申し訳ないけどね。

大己 で、その人はいつまでいるの？

稲妻 ああ？

亜貴人 うーん、元の世界に戻る方法がまだわかってないからなあ。

稲妻 おい亜貴人、俺はずっとここにいるぞ。

亜貴人 え？ ちょっと待ってよ！ 元の世界に戻ろうと思ってるんじゃないの！？

稲妻 別にいいだろ？ 俺はこの世界が気に入った。それで理由は十分だ。

亜貴人 いやでも／／／

利家 まあまあ、イナヅマが居たいのなら居ればいい。それに、イナヅマのおかげでうちも前より賑やかになったからな。

優家里 もともと大所帯ですし、一人くらい増えても問題ありませんよ。

稲妻 お前らは話分かるやつで助かるぜ。おい、大己、友一お前らも堅物亜貴人に何か言ってやれ！

友一 ー、僕もイナヅマさんがそうしたいなら良いんじゃないかなって思います。ね、大己。

大己 まあ、この世界にいるのは勝手にすればいいんじゃない。

稲妻 そうだろ、そうだろ。それみる亜貴人／／／

大己 ただ、この家からは出て行って欲しいかな。うるさいし。うざいし。バカだし。

稲妻 なんだと。

友一 言いすぎだって。

大己 あと短気だし。ことあることに連れまわそうとするし、シャワーしてたらシャンプー足してくるし、朝起きたら隣で寝てるし。

碓佰荘 何してるの！？

友一 ああ、やっぱり大己もなんだ。

亜貴人 友一くんも！？ ちょっとイナヅマ！

稲妻 なんだよ。それぐらいいいじゃねえか。

大己 それぐらいって、そうやって干渉されるのが鬱陶しいんだよ。

稲妻 ああ？ 金玉のちっせえやつだなあ。

利家 はっはっは、イナヅマは二人とも仲良くなりたいたんだろ。

稲妻 おう、ここで暮らす以上、お前らは俺の仲間だからな！

亜貴人 にしてももつと方法があるよね。

利家 亜貴人の言う通り、イナヅマはいきなり距離を詰めすぎだ！  
そんなんじや、仲良くなれるもんもなれないぞ！ なあ？

大己 いや、俺は最初からあんたとは仲良くする気ないから。

友一 ちょっと、大己。

稲妻 は？ なんでだよ。

大己 俺はあんたみたいなやつ、嫌いだから。出て行くつもりがないなら、関わってこないでよね。

友一 まってよ大己！

大己 友一 上奥ハケ

稲妻 …なんだよあいつ。何がいけねえんだ？

亜貴人 いや、いっぱい問題あったでしょ！

優家里 大己くんはあんまり干渉されるのが好きではない子なんです。

利家 大己は繊細なやつだからなあ、まだイナヅマとの距離を測りかねているんだろう。ま、お前たちなりの関係を徐々に築いていけばいい。

優家里 イナヅマ君の良いところを大己君もちゃんとわかってくれますよ。

姫愛 さすがあ、二人とも貫禄あるう。

利家 そうだろ。

稲妻 俺の良いところなんて、ありすぎて数えきれねえぜ。

亜貴人 自分でいうの！？

姫愛 イナヅマ君の思う自分の良いところって何？

稲妻 ああ？ まずかっこいいところだろ。あと強くて優しくて頭が良くて／＼／＼なんでもできる

利家 ハッハッハ、スラスラ出てくるなあ。

優家里 自分の良いところがわかるのは素敵なことですね。

夢華 私が思うイナヅマの良いところは、前向きで明るいところかな。そういうところ、私は好きだよ。

稲妻 お、おう。ありがとよ。

夢華 どうしたの？

稲妻 な、なんでもねえよ！ わりい！ 俺部屋戻るわ。行くぞ、亜貴人。

亜貴人 え、ちよつとまって！

亜貴人 イナヅマ 2階移動

姫愛 イナヅマくんも男の子だねえ。

利家 落ちる音がしたな。

優家里 からかっちゃダメですからね。

夢華 え？ 何の話？

姫愛 ううん。なんでもなあい。

利家 さつ、今日はもう遅いから解散にするぞ！

夢華 姫愛 利家 優家里 上ツラハケ

【10】漫画が描けないんだよ。「亜貴人の部屋」

照明変化

亜貴人 どうしたんだよイナヅマ急に相談って。

稲妻 いや…その…さつき話してたことなんだけどな。

亜貴人 え？ さつき？

稲妻 いや、なんでもない。忘れてくれ。

亜貴人 …もしかして大己君が君のことを嫌いって言ったのを気にしてる？

そりゃあんなことした君が悪いけどさ、大己君だっていつもあんなに冷たい訳じゃないよ。イナヅマだって仲良くなれるはずだよ。

稲妻 …。

亜貴人 落ち込むなんてらしくないよイナヅマ！ 夢華ちゃんも言ってたけど明るくて前向きなのが君の良いところでしょ！ 何か悩んでることがあるなら、僕にぐらい話してよ！

稲妻 それもそうだな、亜貴人。

亜貴人 なに？

稲妻 俺、夢華が好きだ！

亜貴人 うん…え？

稲妻 こっちの世界に来てからずっと俺の面倒見てくれて、優しくて、気が利く！ あ、あと、ついでに顔がめちやくちやタイプだ。優家里から料理を習ってるから飯もうまいはずだ。おい、何より、聞いたか。さつき俺のこと好きって言ってたよな。

亜貴人 いや、その好きってそういう意味じゃ…

稲妻 よし！ 今から告白してくる！

亜貴人 いや、ちよつちよつちよつと待って！ なんてそうなるんだよ！

稲妻 ああん？ 好きな女にここを伝えねえでどうするんだよ！

亜貴人 大己君のこと気にしてるんじゃないの？！

稲妻 ああ？ なんで大己の名前が出てくんだよ！ もしかしてあいつも夢華が好きなのか！？

亜貴人 ちがうよ！ さっき心配した時間は何だったんだよ！ すっごい恥ずかしいじゃないか！

稲妻 だから俺の恋の相談をしたんだろうが！ 俺だって恥ずかしいんだよ！

亜貴人 だからそういう好きじゃ…はあ、もういいよ。心配して損した。

稲妻 何だよ人の恋を厄介事みたいに扱いやがって。

亜貴人 もう今日は勘弁してよ、ここ最近ずっと君に連れまわされて疲れてるんだから。

稲妻 あ？ 確かに夢華も今日は疲れてるかもしれねえな。よし、告白はまだ今度にする。

亜貴人 君といると無駄に疲れる気がする。

稲妻 告白の次となると、船、つまりはこの世界という車か。

亜貴人 ちよつとは静かにしてくれよ。まったく、こんな調子じゃ落ち着いて漫画も描けない。  
ああ、そうだ漫画。締め切りもあるんだ。こんなことしてる場合じゃない。

稲妻 車のためには…免許が要るんだよな。その免許のためには…どうすりゃいいんだ？  
うー…ん、しゃらくせえな。おい、亜貴人、明日は一発で免許を取りに行くぞ！  
おい、亜貴人、聞いてんのか？って、ああ？ 何してんだ？

亜貴人 漫画を描くんだよ。

稲妻 なんだ漫画かよ。あ、そういうえば、俺は確か、お前が描いたんだったよな？

亜貴人 うん、そうだよ。

稲妻 ずっと思ってたんだけどよ、お前がもう一人俺を書いたらもう一人俺が出てくるんじゃないのか？

亜貴人 え？

稲妻 面白そうだ、良いじゃねえか、試してみようぜ。

亜貴人 嫌だよ、もし本当にそうだったら今よりもっと面倒なことになるじゃないか。

稲妻 いいから、書いてみるよ。もしかしたら俺が出てきたことについて、何かつかめるかもしれないねえだろ。

亜貴人 確かに、それはそうかもしれないけどさ！

稲妻 なら決まりだ。ほら、早くかけ。かつこよく頼むぞ。

亜貴人 ……わかったよ。

稲妻 どんなポーズが一番かつこいい？ こうか？ こうか？

亜貴人 あれ？

稲妻 これだ！ おい決まったぞ！ 早くかけ！

亜貴人 描けない。

稲妻 ああん、なんでだ、何が気に食わねんだよ！ このポーズの！

亜貴人 違う。漫画が、描けないんだよ。

亜貴人 稲妻 下奥ハケ

【11】やっぱ仕事は最高だぜ。「コア」

銀銅 時守 上奥入り

照明変化

時守 武器の量産及び具現化後の安定率は調整中です。

また、予想通り、軍事国やテロリストからオーダーが殺到しています。

銀銅 そうか、では、できる限り相手から金をむしり取れ。一切の妥協はするな。

時守 はっ。

銀銅 それで、人体の具現化には成功したのか？

時守 以前の試験では、具現化の反応は見られたもののすぐに消失しました。人体の具現化は出現地点の座標が狂いやすく安定しないそうで。

銀銅 では無限の兵士を生み出すことは難しいわけだな。

時守 はい。ただ、依り代となる体さえあれば、精神だけをこちらの世界に持ってくることは可能ということが判明いたしました。

銀銅 なるほどな、何かに使えるかも知れん。覚えておこう。

ところで兵働と小鳥遊に任せていた件はもう終わったのか？

時守 はい。兵働の過去の関係者を使って、クズ共に売り払ったようです。

銀銅 そうか、今回の計画がうまくいけば、俺たちの野望に大きく近づく。何としてでも成功させるぞ。金の力で全てを手に入れ、この世界を支配するためにな。

時守 素晴らしいお考えでございます。

銀銅 そこまで、俺がお前たちを導いてやる、その命俺に預ける。

時守 この時守の運命は、銀銅様とともに。

銀銅 頼んだぞ。ぐっ…

SE (耳鳴り)

時守 銀銅様、どうされましたか？

銀銅 ここのところ耳鳴りがひどくてな。しばらくすればおさまる。

時守 ご無理が祟ったのでしょう。念のため、医療班を呼んでまいります。

時守 上奥ハケ

銀銅 誰だ、お前は…。

照明変化

獅子村 姉さん！

青豹 お久しぶりです！

兵働 よー、てめえら調子はどうだ？

獅子村 もっちらんバリバリっすよ！

竹虎 とつても元気じゃん！

谷内田 絶対調でございます！

兵働 そうか、相変わらずみてえだな。

青豹 はいい！ ありがとうございます！

小鳥遊 わあい、ミギーの勝ちー！

獅子村 そいやー、さっきからあそこで遊んでるのは…。

兵働 ああ、そうだ、おい何してんだこっちこい！ お前らこいつに会うのは初めてだよな？  
こいつは小鳥遊四方戯つつつて、今のあたしの仕事先の後輩。てめえら仲良くしてやってくれ。

小鳥遊 小鳥遊四方戯です。

青豹 よろしくおなしやす！

小鳥遊 よろしくう。

獅子村 じゃあうちらも自己紹介だな！  
うちは姉さんの後輩で、暴走族「武流麗覇奴」の三代目総長、獅子村藤っす！ 好きなめいがああああ！

小鳥遊 どおしたのー？

虎谷内 かたがはずれた！？

獅子村 安心しろ！せーのっ…せい！

虎谷内 おー

獅子村 改めて、好きな銘柄はメビウス！ よろしくお願いするっす！

小鳥遊 かつこいー。

竹虎 あーしは同じくブルーレパードの頭脳！竹虎露草 death！この中で唯一英検3級を持っているんで、  
よろしく頼みますぞー！



小鳥遊 えいけん？なにそれー

竹虎 知らないのですか？ 英検 $\infty$ 級は崇高なる勲章でしてな、  
あーしは苦労を重ねて $\infty$ 回目でやっと $\equiv\equiv\equiv$ この英検 $\infty$ 級を勝ち取ったのです！

谷内田 はいごめんなさい長いですねー。次はワタクシです！ワタクシはブルーレコード最速エース、  
谷内田桔梗でございますです！姉さんに一番可愛がられている後輩であります！ねえあねさん！

兵働 いや、みんな一番だ。

谷内田 つまり一番です！どうぞご最肩にー

兵働 自己紹介はそのくらいにして、頼んでた件はどうなった？

獅子村 はい！ ばっちりつす！ とりあえず、うちらみたいなボンクラ連中に売ってきたつすよ！

竹虎 あーしらはへまなんてドント！故に足がつくことはないのです。Genius！

谷内田 い、一番最初に売ってきたのはワタクシだったんですよー？

兵働 そうかそうか。じゃあさっさと稼いだ金よこしな。

青豹 姉さんのためにどうぞ！

青豹 返事をしながら金を渡す

兵働 ああ？ なんでこっだけなんだ？

小鳥遊 なんか聞いてたより少なくなあーい？

獅子村 おいおいおいおい！！おまえらちゃんと売ってきたんだろうな？

竹虎 ざっつらいと。あーしはミスなんてしてませんよ。ミスったのは二人のどっちかですな。

谷内田 そーだそーだー！…あれ？

兵働、おいお前ら、これ、幾らで売ったんだ？

谷内田 100円です☆

竹虎 100円です。

獅子村 1000円っす！

青豹 え…？

兵働 馬鹿野郎！ 一個一万円だ！ てめえら0の数すら数えれねえのか！

獅子村 すみませんっす！姉さん！

竹虎 だからどうか許して欲しいんじゃ！

谷内田 ワタクシは心人に言われただけです！御容赦を！

青豹 逃げようとする

小鳥遊 え、一万円なの？ボク一個10万円で売っちゃった。

兵働 は？10万？…ってことはなんだ、お前、1000万も稼いだのかー！？

青豹 えー！！！！！！

小鳥遊 うん、そうだよ

兵働 ま、まじかよ…。あれを一個10万で…よく売れたな…。

小鳥遊 ボクの家、お金持ちだからねえ。まあなんとかなるよ。

青豹 しゃー！

谷内田 これで帳消しだあ！

竹虎

獅子村 これで万事解決だなあ！

青豹 わーい！かんぱーい！

青豹 騒ぐ

兵働 おいテメエら調子に乗ってんじゃねえ！テメエらがミスったことに変わりはないからなあ！<sup>(怒)</sup>

青豹 うわー！姉さんが怒ったー！逃げろー！

兵働 待てえお前ら！

小鳥遊 おにごっこー？ぼくもませてー

全員 下奥 ハケ

照明変化

大己 友一 上ツラ入り

大己 しつこいな。嫌だつて言ってるだろ。

友一 ダメだよ。今日こそちゃんと謝ろ。

大己 だからなんで俺が謝らなきゃいけないんだよ。

友一 大己がイナヅマさんに酷いこと言うからだろ。

大己 ああいう馬鹿は言わないと分からないんだよ。

ていうか、そもそもなんでお前もみんなも、あんなやつのことを受け入れられるんだよ。突然現れて、亜貴人さんの漫画のキャラクターって言われても意味が分かんねえ。

友一 それはみんなも一緒だよ。でも、実際に起こってることなんだし。分からないことは考えても仕方ないでしょ。それよりも一緒にうまくやっていけることを考える方が／＼有意義だと

大己 俺はお前らみたいに何も考えない馬鹿にはなれない。そんな幸せな頭のつくりにはなっていないから。

友一 またそうやって人のこと馬鹿にして…。そんなんじやイナヅマさんだけじゃなくて、誰とも仲良くなんて慣れないよ。

大己 俺は別に一人でもいい。

友一 どうしちやっただよ、大己。昔はもつと誰とでも仲良くできてたじゃないか。

大己 いつの話だよ。…俺はもうあの頃とは違う、変わったんだ。

友一 人はそんなに簡単には変わらないよ。

大己 だったら、お前も、皆も、あいつと仲良くしろだなんて言ってくんじやねえよ。

姫愛 下ツラ入り

姫愛 あれえ、大己君と友一君だあ、二人とも帰つてるところお？

友一 はい。姫愛さん。今からお出かけですか？

姫愛 うん、今日はあ暴走族の総長とデートなのお。

友一 デートなんですか、良いですねえ。姫愛さんモテモテですもんね。って暴走族!?

姫愛 別に怖くないよお、むしろ良い人だから大丈夫う。姫愛の欲しいもの何でも買ってくれるしい、おいしいもの食べさせてくれるしい。あとすごく強いのお。

友一 そ、そうなんですネ。

姫愛 今度二人にも紹介するねえ。

大己 大丈夫です。

友一 遠慮しときます!

姫愛 そっかあ、残念。

友一 で、でも、姫愛さんがそれで幸せなら、オッケーです。

姫愛 ありがとお。あ、そのストラップ、大己君も持ってるんだあ、これって最近流行ってるのお?

大己 いや、これは。

友一 そういえば、今までそんなのつけてなかったよね。買ったの?

大己 そうだよ。俺がストラップつけてちゃ悪いかよ。

友一 そんなこと言っていないでしょ。僕は初めて見たんですけど、そんなに持っている人っているんですか?

姫愛 最近遊んでる男の人達があ、結構持ってるのお。流行ってるなら姫愛ももらっちゃおうかなあ。

大己 それはやめた方がいいですよ。

姫愛 ええ? なんでえ?

大己 あ、いや別に。姫愛さんみたいに、女の人には似合わないかなって思っただけ。

姫愛 ふうん、そっかあ。それもそうだねえ。

大己 それより、デートは良いんですか?

姫愛 ああ、そうだあ、待ち合わせ遅れちゃうよお。じゃあ二人ともまたねえ。

姫愛 上ツラハケ

友一 行ってらっしゃい、気を付けて。姫愛さん、この前は「E」企業の社長とデートって言ってなかったっけ。それが今回は暴走族の総長って、大丈夫かな？

大己 別に誰と付き合おうがあの人自由だろ。

友一 そうだけど、大己は心配じゃないの？

大己 別に。何かあっても自己責任だろ。

友一 それでも、今は一緒に住んでるから家族も同然なわけだし。

大己 俺はそんなつもりないから。家族ごっこに巻き込むなよな。

友一 あ、待ってよ。

大己 友一 下ツラハケ

【13】 そんなに落ち込まないでくださいよ。「公園」

亜貴人 下奥入り

照明変化

夢華 見つけた、こんなところにいたんですね。

亜貴人 夢華ちゃん…。

夢華 今日のご飯の時間になっても帰ってこないから、心配になって探しに来たんです。大丈夫ですか？ また最近落ち込んでるみたいですけど。

亜貴人 ああ、うん、大丈夫。

夢華 …イナヅマから聞きました。絵が描けなくなっちゃったって。

亜貴人 そうなんだ。ごめんね。

夢華 なんで謝るんですか。別に亜貴人さんは悪くないのに。

亜貴人 だって、この前励ましてもらったばかりなのに、こんなことになっちゃったから。

夢華 仕方ないですよ、どうするんですか？ これから。

亜貴人 …皆には悪いけど、絵が描けないんじや漫画家になんてなれないし、これで諦めがついたんだ。いい加減働かないといけないしね。

碓佰荘の皆にも親にも、これ以上迷惑や心配をかけるわけにはいかない。正直なんだか清々した、肩の荷が下りた気がするんだ。

夢華 ふうん、私にはまだ落ち込んでるように見えるけど。

亜貴人 そうかな？

夢華 自分でも本当はわかってるんじゃないですか。

亜貴人 ……自分じゃもうわからないんだ。

夢華 何か心残りがあるとか。

亜貴人 ……しいて言うならイナヅマの物語を書けなくなったことかな。これからの展開とかもいろいろと考えてたし、もし漫画家がダメでもあの物語は描き続けたかったから。

夢華 なんでイナヅマの物語を書こうと思ったんですか？

亜貴人 ……自分とは正反対の誰かを描いてみたくて。自分がなれない誰か。暗くて自信がなくて後ろ向きなモブの宝城亜貴人じゃない、

明るくて自信たっぷり前向きな主人公のキャプテンイナヅマを僕は描きたかったんだ。

夢華 そっか、やっぱり亜貴人さんにとってイナヅマの存在って大きかったんですね。

亜貴人 ……そうなのかもしれないね。

夢華 それこそ、ヒーローみたいな？

亜貴人 ヒーローか…、そっか、そうだね。僕はイナヅマに憧れてたのかもしれない。

夢華 だってさ、ヒーロー。

亜貴人 え？

稲妻 よお。

亜貴人 いたの、って言うか…ずっと聞いてたの。

稲妻 …まあな。まったく恥ずかしいこと言ってんじゃねえよ。

夢華 イナヅマってば、亜貴人さんのこと結構心配してたんですよ。

でも、「俺にはあいつをうまく慰められる自信がないからお前に頼みたい。」って私にお願い／＼

稲妻 ばか！ 夢華！ それは言わねえって約束だぞ！

夢華 ごめんごめん、でも、今の話を聞いてたら、やっぱりイナヅマに言ってもらったほうがいいんじゃないかなと思ったの。だから、ほら、イナヅマからも何か言ってあげて。

稲妻 やい亜貴人、俺を描いたお前がそんなんでどうする、さっさと立ち直りやがれってんだ。

描けなくなつたからなんだ、じゃあ描けるようになるまで頑張るしかねえだろ。がむしやらに生きてれば大抵のことはいつかなんとかなるんだよ。俺が言うんだ間違いない。あとついでに、言っとくけどな！ 今のお前に懂れてるなんて言われてもうれしくも何ともねえからな！ 以上！

夢華 もう素直じゃないんだから。だそうですよ、亜貴人さん。

亜貴人 …僕にできるかな。

稲妻 できるできないじゃない、やるしかねえんだよ。お前のゴールはまだここじゃねえだろ。わかつたら、燃え尽きるまでやってやろうぜ。

亜貴人 ……うん。そうだね。

稲妻 よし。

夢華 さすがヒーロー。かっこいい。

稲妻 あ？ 夢華！ 今なんて言った？

夢華 ううん、なーんにも。

稲妻 嘘つけ！ 頼む！ もっかい言ってくれ！

夢華 やーだ。はい！ もう帰りますよ。みんな待ってるんですから。

稲妻 くっそ、絶対え帰るまでに言わせてやるからな！

亜貴人 二人とも、…ありがとう！

稲妻 おう。

夢華 いいんですよ。

亜貴人 稲妻 夢華 下奥ハケ

【14】 姫愛に任せてえ。「碓佰荘」

照明変化

大己 友一 利家 優家里 上ツラ入り

友一 優家里さん、今日も美味しかったです。

優家里 あら、ありがとう。

利家 二人とも試験の結果はもう返ってきたのか？

友一 はい、僕は昨日で全部、大己は？

大己 俺も。

利家 おおそうか、で、どうだったんだ？

友一 このままいけば、一応二人とも志望校にはとどきそうです。

優家里 二人とも順調そうですね。

利家 そういえば、二人は大学に入っても、このまま寮に残るのか？

友一 うーん、僕の目指してる大学はここから近いし、居てもいいなら僕はこのまま居たいって思ってます。

利家 そうかそうか、大己はどうなんだ？

大己 俺もそのつもりだったけど、あいつがいるならちよっと考える。

利家 イナヅマかあ、本当に馬が合わないんだなあ。

優家里 一緒にいてもお話しませんしね。



友一　せめて普通に会話くらいしてとは言ってるんですけど。

大己　あのバカと話せる言語を俺は知らない。

友一　こんな感じですよ。

利家　何がそんなに気にいらないんだ？

大己　全部。

利家　ハツハツハ、そうきたか。

優家里　ここまでくると相性ですかねえ。

利家　そうだな、大己、無理に仲良くしろとは言わない。相性ってのはどうにもならないこともある。だから、うまく付き合っていく方法を見つけるんだな。

優家里　一緒の家に住んでるわけですし、いろいろ思うところがあると思います。いつでも相談に乗るので遠慮はしないでくださいね。

大己　まあ考えておきます。

友一　まったく…

稲妻　おおおい優家里いいい、朝飯いいいいい！

大己　ハア…。じゃあ俺もう学校行くから。ごちそうさまでした。

友一　あ、じゃあ僕も。ごちそうさまです。いってきます。

大己　友一　下ツラハケ

優家里　いってらっしゃい。

利家　がんばってこいよお。

亜貴人　稲妻　上奥入り

稲妻　おい優家里！今日の朝飯はなんだ！俺はもう腹ペコだぞ！

亜貴人　おはようございます。朝からうるさくしてすみません。

利家 稲妻は今日も元気だな。

稲妻 あつたりまえだ。毎日優家里の飯を食ってるからな！

優家里 今日は何人前にしますか？

稲妻 十人前だ！

重貴人 五人前くらいにしといてください。

優家里 わかりました。用意するのでちよつと待っててくださいね。

稲妻 おう！

利家 二人は今日はなにをするんだ。

重貴人 気分転換にイナヅマとスケッチにでも行ってみようかなと思ってます。

利家 なんだ、イナヅマが絵を描くのか？

稲妻 んなわけねえだろ、ただの付き添いだよ。あ、おい重貴人。夢華のやつも誘おうぜ。

重貴人 夢華ちゃんは今日は大学だよ。

稲妻 なーんだ、じゃあお前と二人か。つまんねえな。

姫愛 下ツラ入り

姫愛 たっだいまあ。

利家 おかえり。なんだご機嫌じゃないか。

姫愛 そうなのお、これ見てえ。新しい鞆買ってもらっちゃったあ。

利家 おお！ それはよかったな！

利家 うん、だからちゃんとお返ししなきゃなのお、何がいいと思う？ 優家里さん。

優家里 そうですねえ、気持ちがおもっていけばなんでもうれしいと思えますが。

じゃあ今度一緒に探に行きますか？

姫愛 え、いいのお？ わあい、優家里さんとデートだあ。

稲妻 女同士なのにデート？

姫愛 誰かと二人で出かけたなら、それはもうデートなの。

稲妻 あ？ てことは俺は今日お前とデート… おお姫愛！ お前も俺たちと一緒にステーキに行くぞ！

亜貴人 スケッチね。

姫愛 ああ、思い出したあ、ねえこれみてえ。

姫愛 ストラップを取り出す

稲妻 ああ？ これは…俺の名刀「天上天下唯我独尊」じゃあねえか！

姫愛 やっぱりイナヅマくんが持つてるやつだよ。

利家 ストラップみたいだな。

姫愛 そうなお。どこかでみたことあるなあって思ったからもらってきちゃった。

亜貴人 どうしてこんなものを姫愛ちゃんが？

姫愛 なんなあ、これと同じやつをいっぱい売ってる人たちがいるんだってえ。大己君も持ってたし、流行ってるならもっとうかなあって。

稲妻 ああん？ あいつも持つてんのか？ おいどういことだ？

亜貴人 僕もわからないよ。

利家 亜貴人の漫画が元になってるのに、亜貴人が知らないのはおかしいな。

優家里 売ってる人に確認した方がいいんじゃないですか？

亜貴人 そうですね、ねえ姫愛ちゃん、その人たちのことって知ってたりする？

姫愛 知らないけどお、たぶんわかると思うよお。

亜貴人 できれば知りたいんだけど。

姫愛 わかったあ。じゃあちよつと電話してみるねえ。

利家 だが、なんでこんなものが流行ってるんだろうな。

稲妻 おい利家！ こんなものじゃねえ！ 天上天下唯我独尊だ！

利家 ああ、すまんすまん。

稲妻 つたく、あん？ どうした亜貴人。

亜貴人 ああいや、心当たりがないわけじゃないなと思って…。

姫愛 (もしもし、総長？ 昨日くれたストラップを売ってる人のこと知ってたりするう？ ほんとお？ じゃあその人たちのこと紹介してほしいんだけど、どこにいるか教えてえ。うん、わかったあ、ありがとう。)

姫愛 わかったよお。ここから一番近い廃工場に行けばいいって。

稲妻 どうすんだ亜貴人？

亜貴人 …何かわかるなら、行ってみるしかないよね。

稲妻 よし、じゃあ今日の予定は変更だな。

碓佰荘 上ツラハケ

【15】 紙の中には私には小さすぎる。「コア」

照明変化

コア 奥入り

時守 兵働、経過を報告しろ。

兵働 あいよ、売りつけたやつから定期的に異常はないか聞いて回ってるけど、今んところ、なーんにも問題はねえ。全部順調だぜ。

小鳥遊 問題があったとすればー、兵働の後輩が安く売りすぎたことくらいだよねー。

兵働 まだ言ってるのかよ。その話はもういいだろ。

小鳥遊 何その態度ー。兵働のミスをチャラにしたのはこの僕なんだからー、もっと感謝してもいいよー。

兵働 ミスしたのはあたしじゃねえって言ってんだろ！

時守 責任逃れは見苦しいぞ。部下の失態も貴様の失態だ。

兵働 んなことわかってるよ！ でもな、こいつずっとこんな感じでいい加減こつちもうんざりしてんだよ。

小鳥遊 ほらほら、兵働ありがとうはー？

銀銅 小鳥遊、あんまり兵働をいじめてやるな。

小鳥遊 はあーい。

銀銅 だがまあ、偶然とはいえ、大金を稼いだ事に違いはねえ。よくやったな。

小鳥遊 わーい、おやびんに褒められたー。わーいわーい。

兵働 銀銅さん今回は本当にすみませんでした。せつかく任せてもらったのにちゃんとできなくて。

銀銅 今回の目的は果たせている。お前じゃなきゃここまでうまくはいかなかっただろう。上出来だ。自信を持って。ただ、はした金だろうが金は金。稼げたもんだったことに変わりはない。どんな手段を使っても構わんが、使うならきっちり管理しろ。

兵働 はい！

時守 兵働、貴様は銀銅様の寛大さに感謝することだな。

兵働 言われなくてもわかってるよ。

銀銅 まあ何はともあれ、全員よくここまでやってくれた、今日は俺のおごりだ。食いたいもん食わせてやる。

小鳥遊 わーい！ 親びん太っ腹ー。

兵働 さすが銀銅さんだぜ。

時守 貴様ら、わかっていると思うが、ちゃんと節度はわきまえろ。

御三家 わちやわちや

銀銅 もうすぐだ、もうすぐこの世界を…

SE (耳鳴り)

銀銅 ぐうっ！ …誰だ？

時守 どうされましたか？

兵働 誰か来たんすか？

亜貴人 稲妻 上ツラ入り

稲妻 おい亜貴人！ほんとにこんなとこにいののか？

兵働 あん？誰だてめーら。

小鳥遊 あ！あの時のドジな漫画家！

亜貴人 やっぱりあなたたちだったんですね！

稲妻 何だ亜貴人、知り合いかよ。

亜貴人 僕の漫画を盗んだ人たちだよ。あの時のネーム返してください！

銀銅 悪いな小僧、それはできない相談だ。

お前さんの描いた漫画は俺たちにとっては金の成る木みたいなもんでな、返すわけにはいかない。

亜貴人 じゃあこのストラップもあなたたちの仕業ですか。

時守 兵働。なぜこいつのような一般人が持っている。

兵働 知らねえよ！

銀銅 なるほどな、それでここまでたどり着いたわけか。そうだ。お前の漫画に出てくるものを具現化して売  
る商売をしていてな。だがまだ不安定な技術なもんで、具現化はお前さんの漫画でしかできないんだよ。

亜貴人 具現化…てことは！じゃあイナヅマもあなたたちが。

稲妻 おい亜貴人、さっきから何グダグダ話してる。何の話かまったくわからんねえぞ。

亜貴人 君がこの世界にいる原因はこの人たちにあるんだよ。

稲妻 なにい？

時守 おい待て、その男ただのコスプレ野郎じゃないのか。

稲妻 ああん？誰がコスプレ野郎だ！…おい亜貴人、コスプレ野郎ってなんだ。

時守 銀銅様、これは。

銀銅 ああ、人体の具現化だ。おい小僧、俺たちの計画に協力する気はないか？  
俺たちの技術向上のために、その男の身柄をこちらに渡してほしい。

稲妻 ああ、なんで俺がそんなことに／＼

時守 勘違いするな、これは一方的な要求だ。

兵働 ちゃーんと考えて返事するこつたな。

銀銅 もちろん報酬はたんまり払う。この漫画が売れたとしても到底手に入れられなかった、死ぬまで贅沢しても使い切れないほどの金だ。何もかも思いのままになる。悪い話ではないだろう。

亜貴人 …そういう話じゃないですよ。人の漫画を盗んでおいて、虫がいいにもほどがありますよ！

稲妻 おいボス猿。良く分かんねえけど、俺がてめえらに協力する訳ねえだろ。  
いいからさっさと、こいつの漫画を返しやがれ！

小鳥遊 お兄さん兵働よりも馬鹿だねえー！

時守 これ以上の話し合いは無駄かと。

銀銅 そうだな。仕方がない、力づくだ。

兵働 おいてめえら！

獅子村 竹虎 谷内田 奥入り

青豹 よばれてとびでてじゃじゃじゃーん！

兵働 そいつらのこと捕まえろ！

青豹 はい！ 姉さんのためなら！ 包围！ 定礎！ 結！ 滅！

亜貴人 まずい囲まれた！

稲妻 おい亜貴人、こいつら悪い奴らなら、手加減しないでいいよな。

亜貴人 え、なにするつもり？

稲妻 俺がボス猿の気失わせる、その間に逃げんぞ！

亜貴人 でも、どうやって。

稲妻 こうすんだよ！

時守 まずい！

SE (ドカーン)

銀銅 ぐわっ！

時守 銀銅様！

兵働 銀銅さん！

小鳥遊 おやびん！

亜貴人 その力！ こっちでも使えたの！？

兵働 てめえ！ よくも銀銅さんを！

稲妻 安心しろ！ 別に死にやしねえよ！ よし、今のうちに…

SE (ドクン)

亜貴人 どうしたの？

稲妻 この感じ、まずいぞ亜貴人。

時守 銀銅様！？

小鳥遊 親びん、大丈夫ー？

銀銅 フハハハハハハ！ やったぞ！ ついにこちらの世界へと出てこられた！ これで私は自由の身だ！

稲妻 …アフェクタムだ。

亜貴人 え？

稲妻 魔神アフェクタムだよ！ おい！ そいつはもうボス猿じゃねえ！ 離れろ！

照明変化 SE



御三家　ぐああ！

青豹　わああ！

稲妻　おいアフエクタム！　そいつらに手出すんじゃない！

銀銅　貴様のおかげでこちらに出てこられた、感謝するぞ同類よ。

SE (洗脳完了)

青豹　アフエクタム様に忠誠を。

銀銅　やはりまだこの程度しか支配できないか。

巫貴人　あの人たち、操られて…！

稲妻　そいつらどうするつもりだ！

銀銅　私がこの世界を支配するためのコマとして使わせてもらう。

稲妻　そうはさせるか！　お前は俺がここでぶっ倒す！　ボス猿の体からさっさと出ていきやがれ！

照明変化 SE (イナヅマの斬撃)

銀銅　稲妻の攻撃をはじく

銀銅

この男の体は私のものだ。しかし、その力は厄介だな。貴様とはそう遠くないうちに決着をつけてやる。首を洗って、待っている。それまで、悔いのない余生を送ることだな。

銀銅　下奥ハケ

稲妻　おい待て！　アフエクタム！

SE (青豹　イナヅマの邪魔をする、地面割れる音)

青豹　アフエクタム様を追わせはしない。

稲妻　何つー力だ、さっきと比べもんならねえぞ。

巫貴人　イナヅマ！　ここは一旦逃げよう！

稲妻　ちっ、その方がよさそうだな。

青豹 下奥ハケ 亜貴人 稲妻 奥ハケ 御三家 下ツラハケ

【16】俺は出ていく。「碓伯荘」

照明変化

優家里 二人とも、遅いですね。

利家 ああ、面倒なことに巻き込まれていないといいんだが。

姫愛 姫愛もついていけばよかったかなあ。

夢華 …やっぱり私、二人のこと探してきます。

友一 危ないですよ。何もないことを信じて待ちましょう。

夢華 でも／＼／

大己 ほっときなよ、なにかあっても自己責任でしょ。

夢華 大己は心配じゃないの？

大己 なんで俺が心配しないといけないんだよ。むしろあいつに関しては帰ってこないで欲しいくらい。

友一 大己、今は冗談でもそんなこと言っちゃだめだよ。

大己 冗談で言っていないから。

友一 みんな亜貴人さんとイナヅマさんのことを心配してるんだよ！ わからないわけじゃないでしょ！？

優家里 友一君、少し落ち着いてください。

利家 こんな時に喧嘩なんてしてもどうにもならん。 夢華、心配なのはわかるが二人の帰りを待とう。

夢華 …うん。

姫愛 ああ、二人とも帰ってきたあ。

亜貴人 稲妻 下ツラ入り

優家里 よかった、無事だったんですね。

夢華 心配してたんですよ！

巫貴人 すみません、遅くなっちゃって。

利家 どうしたんだ二人ともそんなに血相変えて。

稲妻 まずいことになった。魔人アフエクタムが出てきやがった。

利家 魔神アフエクタム？

夢華 何の話？

巫貴人 僕の漫画に出てくる敵なんですけど、その魔神の魂が、僕の漫画を盗んだ人たちの親玉に乗り移っちゃったみたいで。

姫愛 …ええっと、話が呑み込めないんだけど、なにがまずいのお？

稲妻 そいつをこのまま放っておくと、この世界が終わるって話だ。

碓佰荘 さわっ！？ 世界が終わるってどういうこと？

稲妻 魔神の目的は世界征服だ。その邪魔になるイナヅマのことを倒しに来ると思います。イナヅマが同じ漫画の世界の人間で、魔神にとって脅威になりうる唯一の存在だから。でも俺は、アフエクタムに操られた奴らにすら勝てねえくらい腕がなまっちゃってる。このままじゃあいつを倒せねえ、修行しなおしだ。だから…

巫貴人 だから僕たちは碓佰荘を出ていきます。

碓佰荘 さわ！？

夢華 何で出て行っちゃうんですか？

稲妻 あいつがいつ襲ってくるかわからねえからな。

今の俺じゃお前らを守れねえのに、巻き込むわけにはいかねえ。

姫愛 じゃあ二人だけで戦うってこと？

友一君 それって大丈夫なんですか？

稲妻 心配すんな、俺の死に場所はこんなところじゃねえ。なんとかかしてやる。

夢華 ちよっと待ってよ、全然話についていけない。

稲妻 ちよつくら世界を救うためにここを出ていくってだけだ。

アフエクタムをぶつ倒したら、戻ってくるからよ。その時はまたよろしくな！

亜貴人 急なことですみません、それじゃあ僕たちは荷物をまとめてきます。行こうイナツマ。

稲妻 おう。

利家 待て二人とも、ここを出ていくことはこの俺が許さん。

稲妻 ああ？ なんでだよ。

利家 正直二人の言ってることは全く分からなかった、だが二人が大変なことに巻き込まれて、その責任を取ろうとしているってことは理解した。俺たちに何かできることはないのか？

優家里 私たちにも二人のことを考えさせてください。

姫愛 何もしないなんてことはできないよお。姫愛もサポートするよお。

友一 僕も何か手伝わせてください。

夢華 私たちは、すこしでも二人の力になりたいです。だからここに残ってください。

亜貴人 でも、これは僕たちの問題です、皆さんをこれ以上巻き込むわけには／／

利家 何言ってるんだ。俺たちは家族だろ、二人の問題は俺たち全員の問題だ。見過ごすわけないだろ。

稲妻 お前ら…。

大己 ちよっと待ってよ。なんで俺たちまで協力することになってんの？

本人たちが出ていくって言ってるんだからそうさせてあげなよ。

友一 でも、皆協力するって言ってるんだし、大己も一緒に／／

大己 はあ？ 皆がやってるから何？ なんで俺がそんなことしなきゃいけないんだよ。

利家 もちろん、無理に協力しなくてかまわん。

大己 当たり前でしょ。俺は関係ないから。世界が終わるとか、魔神とか、また突拍子もないこと言って、訳わかんないし、本当に巻き込まれたいかと思ってるなら、皆に止められても出ていくべきでしょ。

亜貴人 そうだよね…。

大己 ていうか、みんなも馬鹿なんじゃないの？ 二人の言ってることが本当なら、自分たちも危なくなるんだよ。それでよく二人に残って欲しいって言えるよね。

稲妻 …お前の言ってることは正しいよ、大己。…でもな、こいつらの覚悟を馬鹿にするのは許さねえ。こいつらだって怖いのは同じはずだ、それでも協力するって言ってくれてんだよ。その覚悟を何の覚悟もねえ奴が馬鹿にしてんじゃないねえ。

大己 なんだよそれ。覚悟って何？ 何も考えずに協力するって言おうことが覚悟なの？ あんたたちが戦ってるのに、後ろでただ応援してるやつらを協力してるって言えるんだ。おめでたいね。そんな無責任なやつらに成り下がるくらいなら、覚悟なんてくそくらえだ。

稲妻 そうやって理屈ばっか並べ立てて、人見下して楽しいかよ！ 大事なのは心だろうが。それをないがしろにして、人の気持ちも考えねえ、だからお前には居場所がねえんだよ。いつも一歩離れたところで、自分のことしか考えてねえからな。

大己 なんでお前に、なんでお前なんかそんなことを言われなきゃいけないんだよ！

稲妻 凶星みたいだな、クソガキ。

亜貴人 やめなよイナヅマ。

大己 じゃあお前は俺の気持ちを考えてのか！？ 俺の言ったことをちゃんと受け止めようとしてたか！？ 後から来た分際で、人の居場所に土足で踏み込んできたくせに！

大己 もう我慢できない、むかつくんだよ、お前も！ お前を受け入れようとするみんなも！ そんなに家族ごっこが大事なら、勝手にやってるよ！

照明変化 S E (ドカーン)

碓伯荘 わっ!!

友一 大己！

暗転